

第5次総合計画前期基本計画 令和6年度進捗評価

1. 第5次総合計画前期基本計画で定めた大綱別施策の柱の成果指標及び実施計画事業の活動指標の達成状況

(1) 成果指標の進捗

- :実績の数値が目標値を達成している 又は  
 実績の数値が前年より目標値に近づいている。  
 △:実績の数値が前年より目標値から離れている。  
 - :指標の数値が取れない。

	○			△			—			計		
	R4	R5	R6									
大綱1	4	4	8	8	8	4	0	0	0	12	12	12
大綱2	9	9	6	4	4	7	0	0	0	13	13	13
大綱3	7	11	7	6	2	5	0	0	1	13	13	13
大綱4	13	14	13	3	2	5	2	2	0	18	18	18
大綱5	12	10	13	3	5	2	0	0	0	15	15	15
計	45	48	46	24	21	24	2	2	1	71	71	71

(2) 活動指標の進捗 ○:R5目標値以上 △:R5目標値未満 - :指標未設置

	○	△	—	計
大綱1	63	40	0	103
大綱2	15	20	1	36
大綱3	69	25	2	96
大綱4	24	18	3	45
大綱5	42	17	2	61
計	213	120	8	341

## 2. 成果指標について

第5次総合計画前期基本計画における成果指標71のうち、数値が向上した(又は現状維持)指標は、46 指標となっている。

○達成した主な成果指標は、次のとおり

### 【大綱1】ひとりひとりが役割を持ち輝けるまち(子育て・教育・健康・文化)

ぽんぽん石脇こども園の開園により児童の受入れ定員が増加し、保育所の待機児童数は継続して 0 人である。コミュニティスクールが全校に導入されて3年目を迎え、学校と地域とのつながりが深まり、地域社会の一員としての自覚が高まったことにより、人や地域と関わりながら、住みやすい社会を作るために自ら行動しようとしている児童・生徒の割合が上昇した。

### 【大綱2】地域資源を活用した魅力あふれるまち(産業振興・観光交流)

相談窓口によるサポートを行っているが、事業者の売上は横ばいを維持した。物価高騰等の影響もあり、創業件数は微減となった。

市内の宿泊客数が着実に増加している。市イベント等での PR ブース出店時における宿泊施設の PR が一つの要因だと考える。

### 【大綱3】安心・安全に住み続けられるまち(環境・防災・医療・地域福祉)

市民一人一人のごみ減少や3Rに対する意識の向上や民間資源ステーションの利用者増加により、市民 1 人1日当たりのごみ排出量が減少した。また、家庭の防災備蓄率や国民健康保険特定健康診査受診率が向上した。

### 【大綱4】将来を見据えた暮らしや活動を支えるまち(都市・交通・社会基盤)

裾野駅・岩波駅利用者数が上昇し、コロナ禍の減少以降、増加傾向である。旧耐震基準の木造住宅の耐震診断及び耐震改修の必要性・重要性に関する普及啓発や補助事業による耐震改修工事の促進により住宅の耐震率が増加した。

### 【大綱5】時代のニーズに応えられるまち(市民自治・都市経営)

特別養護老人ホームへの出張申請により、マイナンバーカードの交付率が上昇した。地域(すその)が好きだと思ふ割合が増加した。区運営交付金や市民活動情報誌「Lo-bee」の発行などの支援を行い、地域や団体などの活動の満足度は目標を超えた数値となっている。

### 3. 活動指標

第5次総合計画前期基本計画の実施計画に活動指標（行政が成果に向けて行う活動）を掲げており、341指標中、213指標が目標を達成している。

### 4. 考察

各種健康相談や検診の実施、図書館の親子参加型イベントの実施、道路橋の定期点検など、継続的な取組により実績値が向上している。

人口減少が各種団体の人数や人口1当たりの都市公園の整備面積に影響を与えている。また、マイナ保険証制度の開始に伴うマイナンバーカードの交付率上昇など社会情勢に影響を受ける指標もある。

健康診査受診率の一部（3歳児、妊婦、産婦）や身近にかかりつけ医がいる割合、自分が行く避難所と避難方法の認知率は前年より目標値から離れており、市民の意識・行動変容を促す指標は市民へ働きかけ方が課題となっている。

目標値に近づかなかった成果指標や減少している指標は、数値を計るイベントの中止や事業者の廃業など外部要因によるものを除き、分析を継続的に進めるとともに、更なる成果の向上を図るため、取組みを進めていく必要がある。